

潮受堤防 排水門

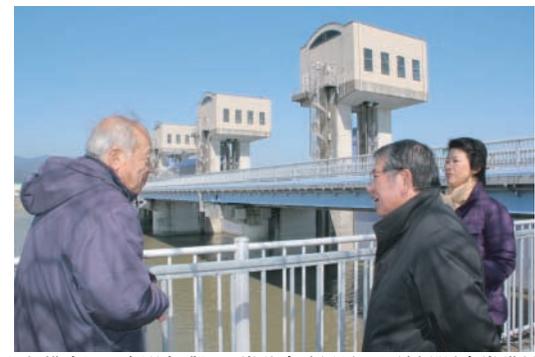
アセス待ちにせず、**開門準備に着手せよ**

ただちに



福岡高裁判決は3年以内の開門を国に命令 水害対策にアセス関係ない。ポンプ等の近代化いそげ

3年以内の開門に向けて政府の方針をただし、でも「アセスを待って」と繰り返す鹿野農水相。赤嶺議員は、防水のための排水ポンプなど水害対策に必要な施設が老朽化している実態や、平成21年の参院決算委員会政府参考人が仁比聡平参院議員(当時)に「(干拓事業終了後も)集中豪雨が起きたら湛水被害が起きている」と答弁したことにも触れ、水害対策は「アセスと無関係。3年



北部排水門で有明弁護団の岩井事務局長から話を聞く赤嶺議員(中央)と堀江ひとみ党長崎県議(右)=2011年2月21日

短期開門調査レベルの開門は効果が実証済み 政府の責任で一刻も早い開門を

赤嶺議員は、排水門の開門方法について、弁護団・原告団は二〇〇二年の短期開門調査レベルからの「段階的開門」を主張していることを指摘。「アセスを待って」「長崎側に誠心誠意」と繰り返す鹿野農水相に、「被害者は漁民」「農業者に不安が広がっている責任は農業と漁業を対立させてきた国にある」として、一日も早い開門を望む漁

民の思いに込めよう求めました。



早期開門を求める漁協役員と懇談する赤嶺議員(中央)と堀江長崎県議(右)=2011年2月21日

●赤嶺議員 短期開門調査で被害も起きず、漁場は回復した。この知見を生かし、段階的開門を急ぐべきだ。宝の海が失われ、自殺者も出るほどの困難を強いられた漁民に、裁判に勝利してやっと希望が出てきた。政府は責任を持って開門をするとの決意を示すべきだ。

○鹿野農水相 3年以内の開門に向けて対応していく

赤嶺議員が質問で紹介した政府参考人の答弁

○政府参考人 森山地区あるいは吾妻地区におきましては、かなり古い時代の排水機場、これは整備をされた経緯がございます。ただ、現在でも森山町、諫早市の森山地区を中心に標高が海拔ゼロメートル以下の農地が300ヘクタール程度存在しているというふうに承知をしております。現在、調整池の水位をマイナス1メートルで管理をしているわけでございますけれども、集中豪雨時等には調整池の水位が高くなって、他地域と比較して排水が滞ることがあるというふうに聞いております。こういった状況を改善するために、森山町の地先の農家を中心に排水改良のための事業の要望があるというふうに長崎県から聞いております。(第171国会・参議院決算委員会で仁比聡平前参院議員の質問に答えたもの)

